

## 今後の感染拡大を見据えた 病床の確保計画等について

今後、感染が拡大する局面を見据え、新たな患者推計を行うとともに、推計に対応した患者受入れ体制を構築する病床確保計画を策定。

### ■ 山口県の患者推計（ピーク時）

区分	総数	本県の確保状況
患者総数（①+②）	421人	①+② 1,061人分
内 ①入院治療が必要な患者数 （うち、重症者数）	298人 （44人）	①確保病床 423床 うち、重症対応 （102床）
訳 ②宿泊療養 [軽症者・無症状]	123人	②宿泊療養施設 638室

**患者推計を上回る受入れ体制を構築**

## 患者推計に対応した病床の効果的運用

感染への備えと一般診療の両立を図るため、感染拡大状況（フェーズ）に応じ、準備病床を即応病床に転換

### I 病床調整

区分	内容	本県の状況
確保病床	感染患者用に対応できる総病床数	423床
内 即応病床	常時「空床」で確保している病床	160床程度
訳 準備病床	準備期間後に受入れが可能な病床	263床程度

➡ **転換**

### II フェーズ設定

区分	感染状況の目安 （推計に基づく1週間の累積患者数）	本県の対応
フェーズ1	[患者数] 30人未満	（原則） 全員入院
フェーズ2	[患者数] 30人以上～100人程度	
フェーズ3	[患者数] 100人以上～200人程度 ※緊急事態宣言が発令される状況	入院 + 宿泊療養施設
フェーズ4	[患者数] 200人以上	



